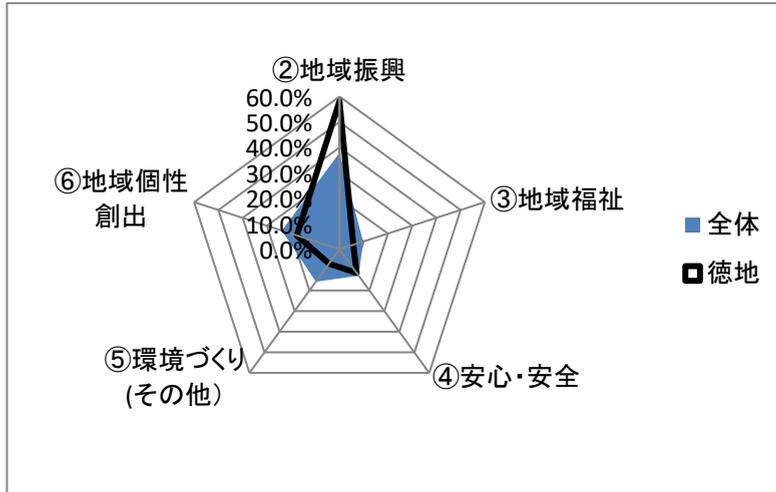


徳地地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(令和3年度)

■地域の情報

地域人口	4,879人	自治会数	122
世帯数	2,185世帯	自治会加入率	96.2%

※数値は、令和4年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	12,640,000 円
交付金決算額	12,640,000 円
その他収入	41,239 円
交付金決算額／配分枠	100.0%

各分野の決算

①協議会運営	7,921,423 円
②地域振興	2,769,093 円
③地域福祉	273,810 円
④安心・安全	548,359 円
⑤環境づくり(土木工事)	円
⑤環境づくり(その他)	329,442 円
⑥地域個性創出	839,112 円
決算総額	12,681,239 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

いつまでも暮らしたいまち とくぢ ～人・絆・支え合いのまちづくり～

令和3年度より、第3次徳地地域づくり計画に基づき、「いつまでも暮らしたいまち とくぢ ～人・絆・支え合いのまちづくり～」をテーマに事業を展開するところでしたが、初年度は新型コロナウイルス感染症の影響から主要な行事は中止となる厳しい状況の中、各地域とも工夫をしながら事業に取り組みました。各地域協議会と事務局のより一層の工夫と連携のもと、来年度も引き続き課題の解決に向けた地域づくりに努めてまいります。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局人件費、事務費、事務局備品購入費
② 地域振興	新たな公共ニーズへの対応、情報発信、体育振興支援事業、観光案内看板等整備修繕事業、自治会・地域団体支援事業
③ 地域福祉	健康ウォーキング事業、健康増進活動事業、福祉活動支援事業、除雪サービス事業
④ 安心・安全	防災体制の確立支援、地域防犯事業、高齢者見守り事業、交通安全啓発事業
⑤ 環境づくり	環境整備事業
⑥ 地域個性創出	ふるさとイベント事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	新たな公共ニーズへの対応	決算額	463,983円
	目的	徳地の公共交通を考えるプロジェクト、地域の問題・課題解決に向けた視察研修等の実施		
	実施内容	A: 徳地の公共交通を考えるプロジェクト B: 地域資源の活用を目的とした先進地視察		
	実施時期	A: 令和3年4月～令和4年3月 B: 令和3年11月27日		
	参加人数	A: のべ429人 B: 13人		
	成果	A: 地域の意見を反映した徳地生活バスの再編により、令和4年4月から新たに徳地生活バスが運行する地域が生まれました。また、協育ネットとの連携により、昨年に続き公共交通の活性化に向け小中高生が手作りのベンチを作成しました。 B: 防府市、長門市の河川空間を活用したまちづくりを学びました。		
	評価	新たな地域の問題や資源活用の可能性を再認識することができました。		
	今後に向けて	A: 利用啓発や改善等に取り組みます。 B: 今後も必要に応じた視察研修を実施します。		
②	事業名	ふるさとイベント事業	決算額	839,112円
	目的	各地区のふるさと夏祭り、徳地フェスティバル等のほか、新たな地域イベントへの取り組み		
	実施内容	イベントの実施に向けた物品の整備、イルミネーションやクリスマスイベントの実施		
	実施時期	イルミネーション: 令和3年12月4日～令和4年1月7日 クリスマスイベント: 令和3年12月18日		
	参加人数	クリスマスイベント: 約100人		
	成果	各地区の夏祭り、徳地フェスティバルは中止となりましたが、次年度に備えて物品の整備がされました。 イルミネーションやクリスマスイベントなど新たな取り組みが行われました。		
	評価	物品の整備により、イベントの準備の効率化と実施環境が向上しました。 イルミネーション、クリスマスイベントは地域や世代を超えた参加により新たな交流の機会になりました。		
	今後に向けて	工夫をしながら誰もが参加、楽しめるイベントを行っていきます。		
③	事業名	情報発信	決算額	1,749,890円
	目的	コミュニティの基盤強化に向けた地域住民同士の繋がりづくり		
	実施内容	地域広報誌・各協議会だよりの編集、発行		
	実施時期	令和3年4月～令和4年3月		
	参加人数	徳地地域の全世帯に配布		
	成果	地域広報紙「ふるさととくち」を毎月発行しました。 協議会だよりを時機に応じて発行しました。		
	評価	徳地地域内、各地域内への情報発信が図られました		
	今後に向けて	地域住民にとって身近広報誌になるよう内容の充実に努めます。		